# 平成３０年度事業報告書

（平成３０年4月１日～平成３１年３月３１日）

特定非営利活動法人 山元・あしたの響き

## 1　事業の成果 及び 特定非営利活動に関わる事業に関する事項

平成 27 年 4 月に、山元町の里山・深山（しんざん）の頂上に建立した鎮魂の鐘には、今年も多くの来訪者があって、東日本大震災の犠牲者を悼んで鐘を鳴らし、記念写真を撮ったりしたが、本年、当法人が関わった事項は主に次の通りであった。

① 4 月 29 日（日）：当法人の催事「春・深山の鐘を鳴らそう」では、町教育委員会の後援を受け、全 110 人の参加を得た。頂上で 3.11 の犠牲者に黙祷を捧げ、大震災のご遺族を代表して、亀井さん（愛妻と愛娘を亡くされた）体験談をお話しいただいた。各自鎮魂の鐘を鳴らした後、下山。深山山麓少年の森で豚汁のサービスを行った。なおこの催事については、5 月 2 日の河北新報みやぎ版に記事が掲載された。

② 5 月 5 日から 8 日にかけて、前項催事の集合記念写真をハガキにして、全参加者に郵送。

③ さとう宗幸音楽事務所の招待を受けて、山元町つばめの杜の災害公営住宅の入居者 12 名を募り、角田田園ホールで開催の「さとう宗幸 with 岡本真夜 プレミアムコンサート」を鑑賞する。

④ 5 月 15 日（火）深山頂上直近の坂道、草刈りを 1 時間行う。

⑤ 5 月 19 日から 6 月 18 日まで、深山山頂からの景観確保のため、頂上西側ブッシュの刈払い作業、延べ 13 時間行う。

⑥ 6 月 6 日（水）河北新報に 6 月 5 日「みちのく潮風トレイル・亘理～山元コース」開通の記事載る。四方山から深山鎮魂の鐘までの稜線伝いのコースが山元町ルートで、コース選定のワークショップ以来の我々の努力が報われたもの。環境省から取り寄せたルートマップによれば、山元町ルートの真っ先に「深山鎮魂の鐘」が載っている。

⑦　6月8日（金）～7月15日（日）地権者の了解を得て、明通峠の深山方面登山口の立木の伐採とブッシュの刈払い、及びゴミの撤去作業、延べ39時間行う。なお回収したゴミは少年の森に運び、処理をお願いする。

⑧7月4日（水）　広報やまもと7月号に潮風トレイル山元町区間開通の記事載る。

**やまもと産業広場**　産業振興課 ☎37-1119

## 「みちのく潮風トレイル」山元町区間が開通しました

「みちのく潮風トレイル」の山元町区間開通に伴い、6月5日、役場において、環境省東北地方環境事務所の常冨豊次長から齋藤町長に対し、ルートマップが手渡されました。

「みちのく潮風トレイル」とは、環境省のプロジェクトとして、青森県八戸市から福島県相馬市までの全長900㌔㍍を超える既存の道を一本の観光ルートとして設定し、自然の恵みや東日本大震災の脅威に触れながら、復興を後押しすることを目的としています。

山元町区間は、町民の皆さんを交えたワークショップによって決定したもので、太平洋と蔵王連峰を望める四方山から深山を通り、新市街地の町並みを眺め、潮風を感じる沿岸部を通るなど、他の区間では味わえない、山と海を満喫できる魅力的なルートになっています。

なお、今回手渡されたルートマップは、環境省のホームページでダウンロードできるほか、数に限りはありますが産業振興課でも配布しています。

皆さんも、ぜひ町の豊かな自然と魅力を感じてみてください。

問 交流拠点整備推進班

みちのく潮風トレイル山元町区間マップ手交式

▲手渡されたルートマップとともに記念撮影

⑨　7月7日（土）七ヶ浜町生涯学習課からの度重なる要請に応え、深山鎮魂の鐘に関する情報のほとんど全てをメール送信で伝える。同町にも似たような鐘の製作予定あり、来年2月中に完成したい由。

⑩　7月11日（水）深山自然観察路の内、みちのく潮風トレイルのルートに当たる樹木に、トレイル表示のテープ貼付け作業を行う。ボランティア2名の援助を受ける。

⑪　8月4日（土）事務局で製作した看板2個、明通峠の深山登山口に設置する。予想以上に地盤が固く、埋設部の掘削に手間取り、2人で4時間要す。

⑫　8 月 11 日（土）烏森の倒木処理 2 本。

⑬　9 月 1 日（月）深山自然観察路、駒返しコースの腐食したクヌギの根元に、猛毒きのこのカエンタケを発見、同 3 日、写真添付で生涯学習課にメールで報告、同職員と夕刻再確認する。あくる 4 日午後にロープと張り紙による事故防止対策を講じたと報告を受け、後日現場を確認する。

⑭　9 月 23 日（日）国見台より北へ、みちのく潮風トレイルに沿って四方山入口まで、トレイルの手入れと表示テープ貼付け作業 7 時間行う。

⑮　10 月 1 日 ～ 10 月 8 日　吹き荒れた台風 24 号による倒木落枝多く、深山自然観察路各コースの保全に延べ 10 時間かけるも、なお手引きノコギリでは処理できないもの多し。

⑯　10 月 10 日（水）前項の倒木処理でなお残る大きな倒木処理のため、生涯学習課の要請を受けて案内役を担い、役場職員一人ほか、チェーンソー持参の職人二人と共に、終日各遊歩道の処理に当たる。

⑰　10 月 13 日（土）鹿落ち坂の倒木処理 1 本。二人で 30 分。

⑱　10 月 21 日（日）正規ルートを外れた鷹討山南側の巨大なアカマツの倒木処理、何重にもツタウルシが絡みつき難渋し、2 人で 3 時間かかる。

⑲　10 月２６日（金）
台風２４号で飛ばされた事務局の看板を作成設置。

㉑　１０月２８日（日）a.駒返しコースの峰の清水の道標の不備を補うため、南進お勧めの看板設置。 b.展望の利かない展望台で迷い込むハイカーのため、注意書きの取付け。

㉒　１１月２日（金）午後から明通峠から雷神山までの倒木調べ、1,5 時間。
㉓　１１月４日（日）鷹討山南奥、カオルの見晴らしコースの倒木処理と見晴し改善のための刈払い作業 3 時間。

㉔　11 月 8 日（木）譲り受けた刈払い機により、駒返しコースのアズマネザサに挟まれた山道の手入れ。二人で 2 時間半。

㉕　11 月 14 日（水）前項の追加作業 2 時間。

㉖　11 月 20 日（火）午後 3 時、NHK の来訪。取材打合わせ 1 時間余。
㉗　11 月 23（金・勤労感謝の日）生涯学習課主催の催事「紅葉の深山に登ろう」に NHK のカメラマンと参加。当法人の取材協力を 2 組、3 名ほどに依頼、本日同行お願いし、カメラマンと打合わせ。

㉘　11 月 29 日（木）台風 24・25 号による角田山元トンネルの真上あたりの倒木数本の処理作業のため、９：２０鷲足沢より入山、ブッシュを切り払いながら稜線に至り、手挽きノコで

処理。下山１５：００。

㉙　12 月 8 日（土）みちのく潮風トレイル上の倒木処理。9：００～15：００

㉚　12 月 18 日（火）地権者・山寺区の区長の了解を得て、一寸持山の眺望改善作業 4 時間半。

㉛2019 年 1 月 1 日（火）　初日の出遥拝のための深山頂上来訪者は、例年を上回る 60 名ほどか。

㉜1 月 30 日（水）　午前 10 時半ごろ、体調不良者のためレスキュー隊出動要請。 ＝ 深山登頂後、岩沼のハイカー一人と共に下山時、一寸持山で体調不良のため立ちつくしている知人男性（79 歳）に出会う。右手先に痺れありという中、次第に意識も薄れていく様子なので、119 番通報。ヘリも含めて大騒ぎとなるが、レスキュー隊の要請を受けて一旦下山し、隊員 4 名を連れて再度登った時には、本人と岩沼のハイカーは、別コースを自力下山開始で現場におらず、慌てて後を追う。結局無事に収まったが、本人はレスキュー隊員より説諭受ける。

㉝　2 月 20 日（水）大震災 8 年に当たる３・１１の黙祷のための小催事の「お知らせ」を貼る。少年の森 4 枚、頂上 1 枚、水道タンク前 1 枚。NHK の取材に伴うもの。

㉞ 2 月 27 日（木）　一年前に長岡が作詞した鎮魂の鐘のイメージソング「ああ深山の鐘」が出来上がる。さとう宗幸氏の作曲と歌唱によるもの。さとう音楽事務所の久保マネージャーより、リフレイン編集の済んだ音源届く。商品化しない限り自由に使っていいとのことで大変助かる。https://www.youtube.com/watch?v=AB3lmLe_qIg

「ああ 深山（しんざん）の鐘」

作詞　長岡久馬

作曲　さとう宗幸

歌　さとう宗幸

一、君はいま
どこを歩める旅人か
どこでほほ笑む旅人か
どこで安らう旅人か
聞こえたら
この鐘の音が聞こえたら
せめて振り向け 手を振ってくれ
ああ 鐘よ鳴れ 鳴り響け
ここは深山（しんざん）
ここは深山 鎮魂の鐘

二、君はいま
頬をかすめるそよ風か
楚々とたたずむ野の花か
空にまたたく星なのか
聞こえたら
この鐘の音が聞こえたら
せめて答えて「ここだよ」って
※ ああ 鐘よ鳴れ 鳴り渡れ
ここは深山
ここは深山 鎮魂の鐘

※

語り ＝ 必要なら間奏時に

2011年 3月11日
春まだ浅く
小雪舞い散る昼下がり
突如 地は揺れ 海騒ぎ
猛り狂った大津波
そして ああ君は
そしてああ
あの人も あの人も
・・・・逝ってしまった

㉟ 3 月 8 日（金）少年の森 9 時待合わせで、NHK の取材のため頂上へ。鐘の紐交換の様子などを撮る。鐘の建立に至った事情などの質問によるインタビューを受ける。寒さに震える。下山は 2 時。

㊱ 3 月 11 日（月）折角急遽企画した小催事も雨のためほとんど来訪者なしだが、午後 2 時 46 分ぎりぎりに男性来訪者 2 名あり。共に鎮魂の鐘を鳴らして黙祷を捧げる。合計 5 名の参加。NHK の取材は中止となる。

㊲ 3 月 26 日（火）※午前＝鎮魂の鐘の寄金者で長崎県佐世保市から来訪の夫妻を、深山鎮魂の鐘にご案内する。　※午後＝環境省主導のみちのく潮風トレイルの宣伝動画撮影のため、撮影クルーの二人と産業振興課の職員一人、他ボランティア 3 名と共に再登頂。長岡の図案によるアピールボードを持って 11

秒間用の動画撮影に協力する。

## 3　その他の事業の実績

前年度同様、当年度もその他の事業は一切行わなかった。

## 4　実施体制等に関する事項

（1）会計監査：平成 30 年 4 月 13 日、事務局において、平成 29 年度の会計監査が行われ、すべてにおいて疑義の無いことが確認された。

（2）通常総会：平成 30 年 4 月 22 日（日)、13 時 30 分より、つばめの杜ひだまりホール 4 号室において開催された。

・出席者数　正会員総数 17 名中 11 名出席。

・議事内容　a.平成 29 年度事業報告・決算報告の承認、及び監査報告

b.平成 30 年度事業計画・活動予算の承認

c.定款の変更について・特定非営利活動促進法の改正に伴う貸借対照表の公告の方法に係る定款変更について、理事より変更案が示され、満場一致で可決された。これにより、貸借対照表の公告について、官報への掲載はせず、内閣ポータルサイトに掲載して行うこととなる。事務局掲示場への掲示に関しては従来通り。

d.任期満了に伴う役員人事について・金子監事の退任に伴い、小野寺浩子理事が監事に移籍、その他の役員は従来通りと承認された。

（3）第 1 回理事会：平成 30 年 10 月 20 日（日）13：30 より、つばめの杜ひだまりホール第 7 会議室において開催された。

・出席者等　理事 8 名中、6 名出席

・議事内容　a.必要経費について　イ.刈払い機の購入　ロ.インターネット接続料と電話料金の全額負担　ハ.写真ソフト更新アップロード版購入等について討議され、イ.については伊藤副理事長より私物の無償提供の申し出があり諒とされ、ロ.とハ.については要請通り承認された。

b.アルバムの作成について・理事長より、撮りためた写真により、イ.「日本大震災の記憶」及び、ロ.「深山の植物」の作成を行いたいと要請があったが、討議の結果、イ.については見本アルバムを 1 部作成の上検討、ロ.については後日の検討を待つこととなる。

c.さとう宗幸氏のコンサート（10/25）への招待を受けて（4 名)、ご祝儀 1 万円が認められた。

（4）会員に関する事項：平成 30 年度末現在、正会員 17 名、賛助会員個人 4 名、同法人 2 件
（5）役員に関する事項：平成 30 年度末現在、理事 8 名、監事 2 名、理事長・長岡久馬
（6）情報発信体制に関する事項：《ブログ あしたの響き》http://blog.canpan.info/asitano-hibiki/
（7）その他：a. 5 月 14 日・内閣府 NPO ポータルサイトへの会計情報登録終了。
b.6 月 1 日・仙台法務局で資産の総額及び役員変更登記終了。

以上